

# 別紙

# 「説明及び意見を聴く会」の開催結果①

## 概要

平成28年2月2日(火)18:00~19:30、「説明及び意見を聴く会」を佐世保市内で開催し(参加者16名(利用者:3名、業界:10名、マスコミ3名))、以下のとおり、利用者3名からご意見をいただき、このご意見に対し申請事業者から回答がなされました。

### 利用者の意見①

全国的にアベノミクス効果により景気回復が見られているものの、地方の一般市民においては、その効果はまだ十分に及んでおらず、バスの運賃値上げは、利用者にとってはより一層の大きな負担増となる。特に交通弱者の高齢者、年金生活者の方々にとっては、非常に厳しいものと思慮される。

しかしながら、バス事業を取り巻く環境は、少子化や人口減少等により乗車人数は年々減少傾向が続き、今後においてもこの状況は続き経営悪化の要因となることは理解でき、このまま推移すると私ども市民の足が無くなってしまいう可能性すら考えなければならないことから、今回の運賃の値上げはやむを得ないものとする。

今後の高齢化社会に備え、低床車両への代替え、車両機器及び施設整備等の更新、接客サービスの改善を図り、安全・安心で快適なサービスを併せてお願いしたい。

### 西肥自動車の回答①

乗合バス事業をとりまく現状やバス会社の実情につきまして、深い関心とご理解を賜っておりますことに、心から感謝を申し上げます。

低床車両については、お客様の利便性向上のためにも、佐世保市内を中心として、今後も計画的に導入を予定しているところです。施設整備については、佐世保駅前バスセンターをリニューアルし、さらに、観光施設案内・交通アクセス・グルメ情報等の多言語化に対応した次世代型デジタルサイネージを設置したところですが、今後も計画を立てて必要に応じ設備更新を実施して参ります。最後に接客サービスについては、安全・安心・快適な運行のため、運転士への運転技術指導や接遇の基本について、引き続き指導して参ります。

### 利用者の意見②

今回の値上げは、年々厳しくなる経営状況を改善させるための一つの手立てであることは理解するが、一方で、いくつかの路線でダイヤの減便が行われており、以前より不便になったという話を聞くことがある。値上げを行うからには、減便を行うといった直接的に利用者の利便性の低下をもたらすようなことは避け、利用者目線に立った運行を行ってもらうよう要望する。

### 西肥自動車の回答②

バス事業を取り巻く環境は非常に厳しく、当社としても苦渋の決断でやむを得ず減便をさせて頂いた路線もあります。

昨年6月に、「利便性を維持した持続可能なバス事業を実現する」を基本方針とする佐世保市公共交通網形成計画が策定されたところですが、今後ともより多くのお客様にご利用頂けるバスを目指して鋭意努力して参りますので、今後の動きを見て頂きたいと存じます。



# 「説明及び意見を聴く会」の開催結果②

利用者の意見③

政府は地方創生を掲げ、今後さらに地方を支え中央との格差を解消してくれるものと期待していたさなか、中央との格差がさらに開くような今回の値上げには愕然とする。地方の公共交通に採算性を求める時代はもう終わったのではないかと考える。この際、近いうちに、地方都市においては、鉄道・バスも含めいったん清算し、公共交通を第3セクター化し、国・地方自治体、さらに住民・地域企業などが共同で管理する方法が、今後のあり方としてはベストであると考えざるを得ない。

現状では、「経営悪化すれば合理化・運賃値上げ」のプロセスは妥当であると思うが、これまでのこのプロセスが悪循環のスパイラルに陥っていないか。

現在の社会環境下では賛否について何とも言えない。しかし料金設定は重要である。短距離を安くし徒歩・二輪利用者をバスへシフトする、長距離を安くしマイカーからのシフトを促進するなどの手法もあってよいのではないか。

西肥自動車の回答③

乗合バス事業を取り巻く環境が非常に厳しい中、当社としては地域の足を守るため国や地方自治体から補助金を頂き運行している状況です。現在、佐世保市とも連携し、地域公共交通のあり方について議論しているところですが、お客様の快適なバス利用や少しでも多くのお客様にご利用頂くために努力してまいりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

## 自動車局の見解

陳述者のご意見のとおり、バス運賃値上げに際しては、低床車両への代替え、施設整備等の更新及び接客サービスの改善を図り、利用者目線に立った安全・安心・快適な運行を行う必要があると考えます。

申請事業者である西肥自動車(株)においては、今後、運賃改定のみには頼るのではなく、様々な利用促進策による需要喚起及び一層の利便性向上に向け取り組む意向であることを確認いたしました。

今般の運賃改定を契機として、国や自治体との連携や新規顧客の獲得に向けた取り組みにより、利用者利便の増進が図られていくことが最も重要であり、自動車局としても乗合バス事業全体の活性化に向けてバス事業者や関係自治体等と連携してまいりたいと思います。





エリアニュース

全国のニュース

社会

政治

経済

国際

スポーツ

文化芸能

TOPに戻る

社会

### 県北地区 路線バス運賃値上げ利用者へ説明会 (長崎県)

4月に予定されている佐世保市営バスと西肥バスの運賃値上げを前に住民を対象にした説明会が開かれた。

説明会では佐世保市交通局と西肥バスの社長らが値上げの幅や経営改善への取り組みについて説明した。市交通局は4月から路線バスの初乗り運賃を現在の150円から170円に引き上げるなど平均約10%の値上げを予定。西肥バスも一部の路線を除いて値上げする方針。市交通局などは「人口減少で利用者が減るなか路線維持には必要」として運賃改定に理解を求めた。

[2/3 13:04 長崎国際テレビ]

一選択して下さい



- \*ニュースをご覧になるときは、マウスをクリックしてください。最適な通信速度でニュースをお伝えします。
- \*動画をご覧になるには、Windows Media Playerが必要です。
- \*「Windows Media Player」のダウンロードはこちらから。